

災害から命を守ろう

防災

ガイドブック

CONTENTS

【市の災害特性】	帰宅困難への対策をしておきましょう…15
風水害の危険性……………1	【災害への対応】
地震の危険性……………2	台風・集中豪雨・局地的大雨のポイント…16
【災害に備えて】	土砂災害のポイント……………17
自助・共助を強化しましょう…3	早めに避難しましょう……………18
市の防災情報を確実に受信しましょう…4	大雨のときの注意点……………18
防災気象情報を入手しましょう…5	震度と揺れの大きさ……………19
警戒レベルと住民が取るべき行動…6	緊急地震速報……………19
避難場所を決めておきましょう…7	地震のときの注意点……………20
危険箇所を確認しておきましょう…7	火災発生時の行動……………21
避難のタイミングを決めておきましょう…8	住宅用火災警報器を設置しましょう…21
防災倉庫の場所を確認しておきましょう…8	初期消火のポイント……………22
避難場所・避難所一覧……………9	応急手当のポイント……………23
非常用持出品・備蓄品……………11	LP（プロパン）ガスのポイント……………24
地域の防災活動に参加しましょう…12	ペットを飼われている方へ……………24
建物等の安全対策をしましょう…13	【瑞浪市防災マップ】
家の中の安全対策をしましょう…14	瑞浪市防災マップ……………25
配慮を必要とする方を支援しましょう…15	



風水害の危険性

瑞浪市は、中心部に土岐川が流れ、市域の約70%を山林が占める緑豊かな自然環境を有しています。しかしながら、その一方、台風や集中豪雨などによる大雨の際には、河川の氾濫や土砂災害が発生する危険があります。

過去には、大規模な浸水害や土砂災害も発生しているなど、日ごろから風水害に備える必要があります。

◆市内で過去に起きた風水害



昭和47年豪雨災害



昭和47年豪雨災害



平成8年地すべり災害



平成22年土砂災害



平成23年豪雨災害



平成30年台風21号倒木被害

地震の危険性

●南海トラフ地震

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界付近を震源域として、概ね100～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震のことをいいます。

前回の地震発生から70年以上が経過し、今後30年以内の発生確率は、70～80%、市内のほとんどの地域で震度6弱(19ページ)の強い揺れが予測されています。

南海トラフで異常な現象が観測された場合や、地震発生の可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると評価された場合に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。臨時情報が発表された場合は、地震への備えを確認しましょう。



瑞浪市の被害想定(冬の午前5時に地震が発生した場合)

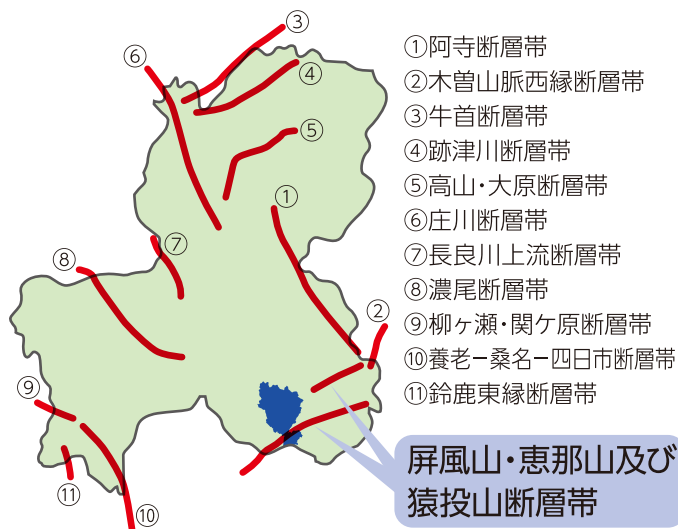
建物被害	全壊	818棟	人的被害	死者数	18名
	半壊	2,243棟		重症者数	31名
避難者数		4,365名		負傷者数	332名
				要救出者数	78名

岐阜県平成23～24年度南海トラフの巨大地震等被害想定調査より

●内陸型地震(例:阪神・淡路大震災、熊本地震など)

内陸型地震は、活断層の影響によるもので、一般的に震源が浅く、地表は激しく揺れ、局所的に甚大な災害となることがあります。発生間隔は1,000年～1万年と長く、今後30年以内の発生確率が3%以上を「Sランク」、0.1～3%を「Aランク」、0.1%未満を「Zランク」、不明を「Xランク」で分けられています。

岐阜県内には多くの活断層が確認され、市では、屏風山・恵那山及び猿投山断層帯による地震の被害が最も大きいとされています。発生確率は「Aランク」、市内全域で震度6弱～6強(19ページ)の非常に強い揺れが予測されています。



瑞浪市の被害想定(冬の午前5時に地震が発生した場合)

建物被害	全壊	3,206棟	人的被害	死者数	164名
	半壊	3,744棟		重症者数	280名
避難者数		10,829名		負傷者数	1,030名
				要救出者数	708名

岐阜県平成29～30年度内陸直下型地震に係る震度分布解析・被害想定調査より

自助・共助を強化しましょう

大規模災害時には、行政自身も被災してしまいますので、市や消防、警察などによる「公助」に限界が生じます。事実、阪神・淡路大震災では、7割弱の方が家族も含む「自助」、3割が隣人等の「共助」により救出され、「公助」による救出は数%に過ぎなかったという調査結果が出ています。

災害による被害を少なくするためには、自分の命は自分で守る「自助」、自分たちの地域は自分たちで守る「共助」を強化する必要があります。

自助

個人・家族

自分の命は自分で守る

- ・耐震診断・補強、家具の転倒防止などの自宅の安全対策
- ・地域の危険箇所、避難経路などの確認
- ・非常用持出品、備蓄品などの準備
- ・早めの避難行動

…etc



共助

地域

地域の人々で力を合わせて協力する

- ・自主防災組織への参加
- ・防災訓練の実施
- ・地域での消火・救出活動
- ・高齢者や体が不自由な人への助け …etc



公助

行政・関係機関

情報発信、応急措置、救出、復旧

- ・市や消防、警察、ライフラインに関する公共機関などの応急活動
- ・ハザードマップの作成・公開
- ・防災情報の収集・伝達 …etc

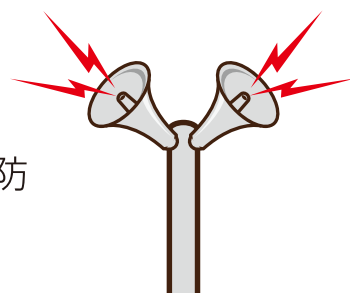


市の防災情報を確実に受信しましょう

市では、気象情報、地震に関する情報、避難情報などの防災情報を、さまざまな方法で発信しています。

●防災行政無線

市内各所に設置している屋外拡声子局（スピーカー）で、防災情報を放送します。



●防災ラジオ

屋内に設置された専用のラジオに、防災情報を伝達します。大雨や暴風時など屋外の防災行政無線が聞き取りにくい時でも、はっきりと確認することができます。

※市内に住所を有する世帯、事業所、公民館などに無償で貸与しています。

災害に備えて

防災ラジオの設置方法

- ❶ 黒色の防災専用アンテナをラジオ本体に差込み、ネジを右にまわして取り付け。



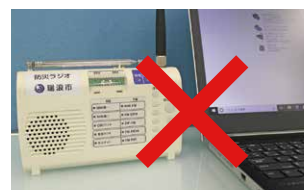
- ❷ 停電時に、乾電池（単三3本）を入れる。



- ❸ ACアダプタをコンセントに差し、ラジオと接続する。



- ❹ テレビやパソコンなどの機器から離して設置する。



●瑞浪市ホームページ

市ホームページの「緊急情報」欄に防災情報を掲載します。

市ホームページ



●防災・防犯「絆」メール／LINE

登録したメールアドレス、アカウントに防災情報を送信します。

メール登録



LINE登録



●緊急速報メール（エリアメール）

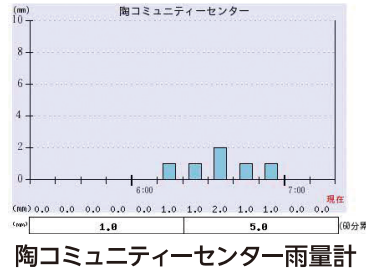
「緊急地震速報」「気象等に関する特別警報」「市からの避難情報」などを対象エリア内にいる方の携帯電話に直接伝達します。（携帯電話各社の運用）

防災気象情報入手しましょう

防災気象情報を自ら入手し、状況を的確に判断することが重要です。市ホームページの「防災情報」欄にて、雨量や河川情報などを公開しています。また、気象庁などのホームページへもリンクしています。

●雨量

市役所、稲津・陶・釜戸・大湫・日吉コミュニティセンターの6箇所に設置している市の雨量計、陶町大川、釜戸町論析、日吉町平岩の3箇所に設置されている県の雨量計などにて、各所の時間雨量や連続雨量を確認できます。



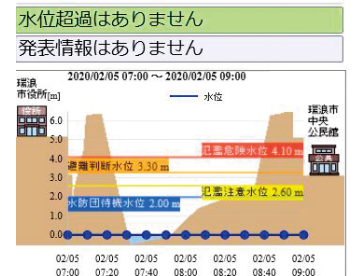
●河川水位とライブ映像

土岐川と一級河川の8河川(万尺川、狭間川、小里川、萩原川、佐々良木川、中沢川、日吉川、白倉川)に水位計が設置され、現在の水位や避難判断水位、氾濫危険水位などを確認できます。



土岐川明德橋ライブ映像

また、土岐川の明德橋、新大島橋、松ヶ瀬橋などに河川カメラを設置していますので、ライブ映像も確認できます。



土岐川明德橋地点の水位情報

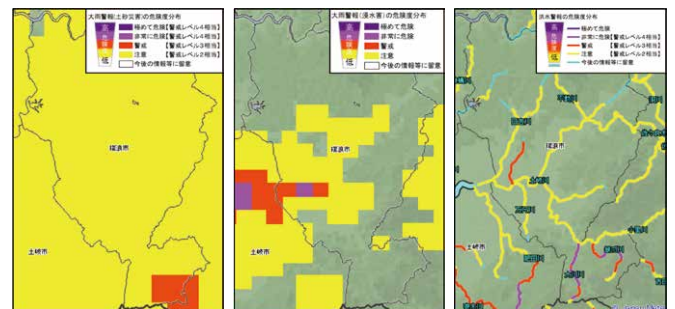
●土砂災害警戒判定メッシュ情報

●大雨警報(浸水害)の危険度分布

●洪水警報の危険度分布

メッシュ情報・危険度分布は、警報発表時や強い雨が降ってきたときに、どこで土砂災害や浸水害、洪水の危険度が高まっているかを色分けした情報です。

気象庁のホームページから確認できます。



土砂災害警戒判定メッシュ情報

大雨警報(浸水害)の危険度分布

洪水警報の危険度分布

出典:気象庁ホームページより

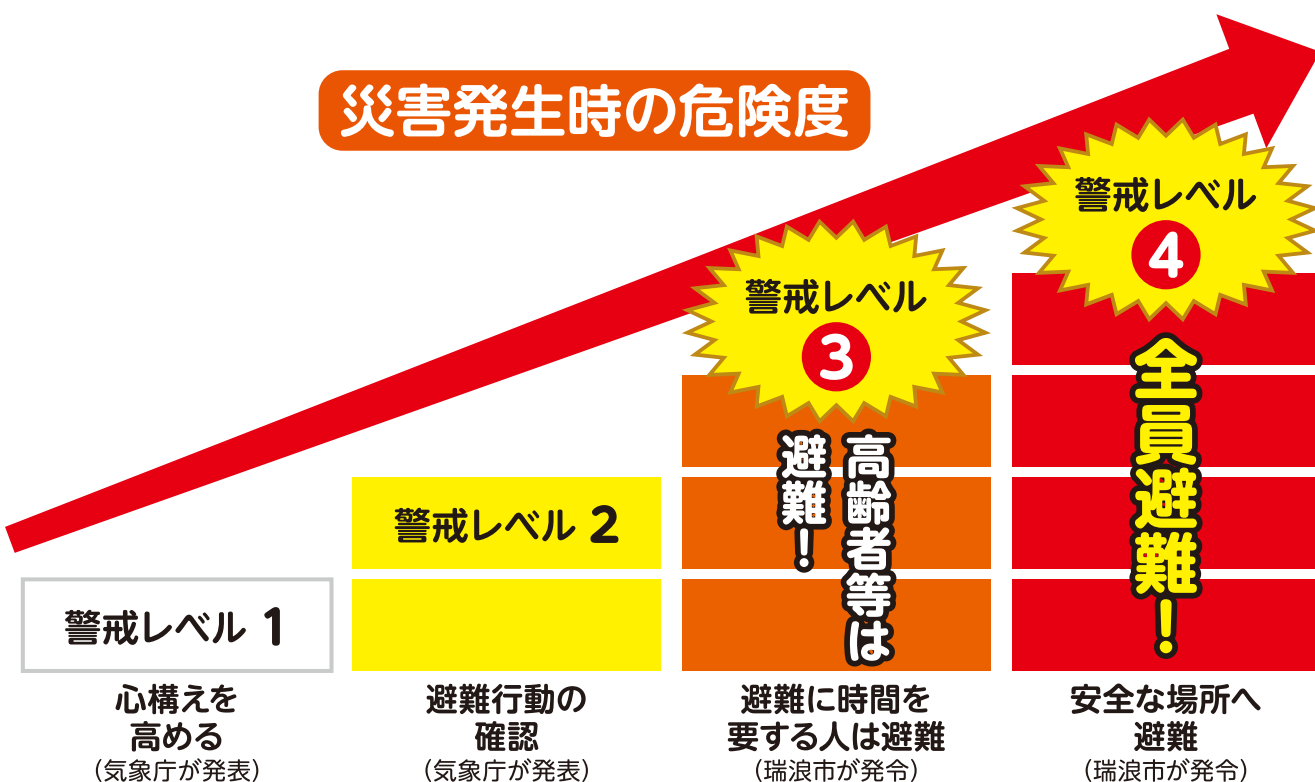
◆テレビのデータ放送(一例)

気象情報などは、テレビのデータ放送から簡単に取得することができます。

- ①確認したい放送局を選択し、リモコンの『**d** ボタン』を押す
- ②気象情報、避難情報、河川水位情報などを選択し、『決定ボタン』を押す
- ③確認したい自治体を選択し、『決定ボタン』を押す

警戒レベルと住民が取るべき行動

災害発生時の危険度



災害に備えて

【警戒レベル 5】(瑞浪市が発令)は既に災害が発生している状況です。

警戒レベル	避難行動など	主な気象情報及び避難情報
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害発生情報 ・ 大雨特別警報
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先への避難を完了させましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難指示(緊急) ・ 避難勧告 ・ 土砂災害警戒情報
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は、避難しましょう。その他の人は、避難の準備をし、自発的に避難しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難準備・高齢者等避難開始 ・ 大雨警報 ・ 洪水警報
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップや災害・避難カードなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大雨注意報 ・ 洪水注意報
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早期注意情報

(内閣府 [防災担当]・消防庁作成「警戒レベルに関するチラシ」より)

避難場所を決めておきましょう

市は、災害が発生、または発生するおそれがある場合、その危険から命を守るために避難する場所を指定しています。

浸水害や土砂災害など、災害の種別によって避難する場所は異なりますので、それぞれの災害に応じた避難場所等を決めておきましょう。(9ページ)

●指定緊急避難場所

災害から緊急的に避難する場所です。学校のグラウンドや公園などの野外公共施設を指定しています。



災害に備えて

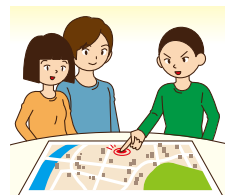


●指定避難所

被災された方が一定期間滞在・避難生活を送るための施設で、コミュニティーセンターや学校などの公共施設を指定しています。

●一時避難場所

災害から避難し、安否確認などを行うため、緊急的に集合する場所です。自治会などでハザードマップを基に話し合い、地域の公園や公民館など一時避難場所を決めておきましょう。



危険箇所を確認しておきましょう

市ホームページで、浸水害・土砂災害、液状化の区域を示したマップを公開しています。

●土砂災害等のハザードマップ

浸水や土砂災害の想定される区域を示した「ハザードマップ」を作成し、公開しています。自宅周辺や通勤・通学路上の危険箇所や避難経路などを確認しておきましょう。

瑞浪市ハザードマップ

Q検索



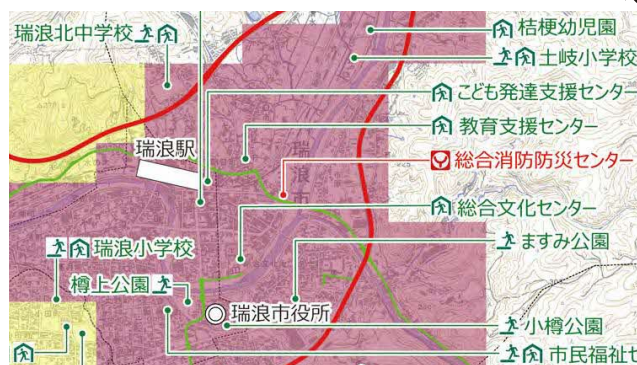
●液状化危険度マップ

液状化とは、地震発生時に地盤が液体状になる現象で、家や電柱などが傾くことがあります。

予想される地震の「液状化危険度マップ」を作成し、公開しています。

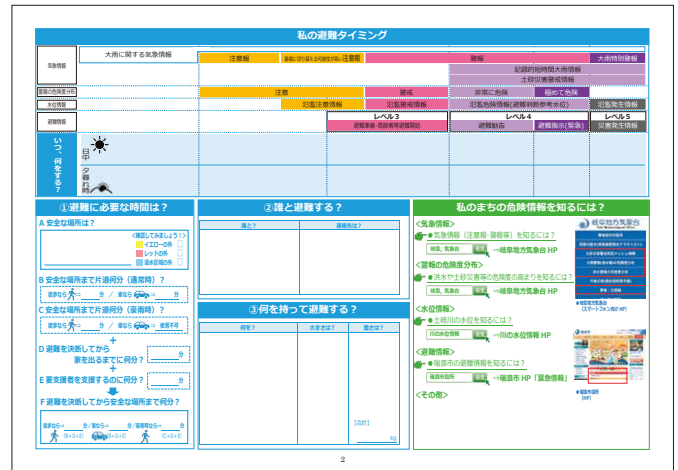
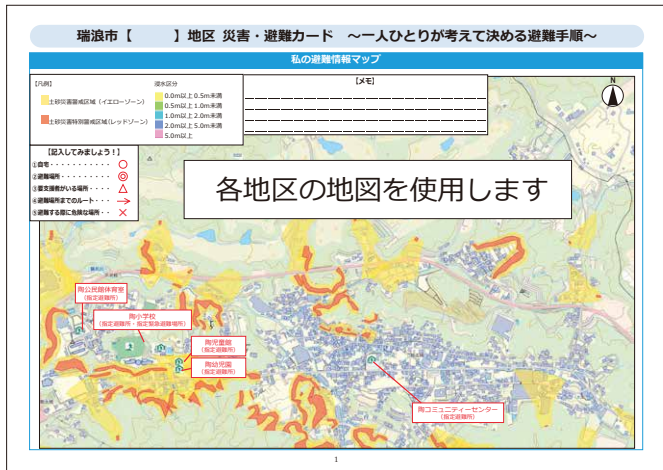
瑞浪市液状化危険度マップ

Q検索



避難のタイミングを決めておきましょう

風水害から命を守るためには、状況を的確に判断し、適切なタイミングで避難することが重要です。市では、風水害が予想されるときに、どんな情報をもとに、どの経路で、どこに避難するのかなどの手順を一目で分かるように整理した「災害・避難カード」作成講習会を実施していますので、積極的に参加しましょう。



災害に備えて

防災倉庫の場所を確認しておきましょう

地域の防災拠点となるコミュニティセンターや指定避難所となる小・中学校などを中心に防災倉庫を設置し、救出・救助活動に必要な資機材を配備しています。また、災害時には、多数の避難者の発生が予想されることから、食料や飲料水、生活必需品についても備蓄しています。

地区	設置場所
瑞浪	瑞浪市役所・瑞浪小学校・瑞浪中学校・子ども発達支援センター「ぽけっと」・紺屋原公民館前・市民福祉センター(ハートピア)・浄化センター・小田西部中央公園・明賀台ふれあい公園
土岐	土岐小学校・桜寿荘(さくら)・瑞浪北中学校(令和2年度完成予定)
明世	狭間川公園・明世小学校・市民体育館
稲津	稲津コミュニティセンター・稲津小学校・瑞浪南中学校
陶	陶公民館体育室・陶小学校・陶コミュニティセンター・希望ヶ丘集会所
釜戸	釜戸コミュニティセンター・釜戸小学校・旧釜戸中学校
大湫	旧大湫小学校
日吉	日吉コミュニティセンター・日吉小学校・細久手公民館

※ は、地域の拠点となる防災倉庫です。

●主な備蓄品目

非常食・飲料水・毛布・簡易トイレ・土のう袋・ブルーシート・工具セット・スコップ・バール・のこぎり・担架・救急セットなど

※備蓄品目は防災倉庫によって異なります。



避難場所・避難所一覧

 指定緊急避難場所 (災害から緊急的に避難する場所)

地区	施設名	所在地	災害種別	
			土砂災害	浸水害
瑞浪	市民福祉センター(ハートピア)	樽上町1丁目77		
	樽上公園	樽上町1丁目41-1	×	×
	五色公園	一色町4丁目19		
	瑞浪小学校グラウンド	北小田町1丁目66		×
	下沖公園	下沖町1丁目1		×
	瑞浪中学校グラウンド	土岐町7790-1	×	
	明賀台ふれあい公園	明賀台2丁目82		
	小田西部中央公園	西小田町6丁目42	×	
	高松公園	西小田町3丁目258	×	
	瑞浪中央公園	北小田町2丁目4		×
土岐	土岐小学校グラウンド	土岐町6451-4		×
	瑞浪北中学校グラウンド	土岐町973	×	
	ますみ公園	益見町1丁目140		注
	南松公園	上平町4丁目38		
	小樽公園	上平町1丁目39		注
明世	明世小学校グラウンド	明世町山野内1-40		
	市民公園(いこいの広場)	明世町戸狩69-1	×	
	四反田公園	薬師町4丁目14		注
	狭間川公園	松ヶ瀬町4丁目33		×
稲津	稲津小学校グラウンド	稲津町小里371-1		
	瑞浪南中学校グラウンド	稲津町小里456		
	稲津コミュニティーセンター駐車場	稲津町小里697-1		注
陶	陶小学校グラウンド	陶町水上665-1		
釜戸	釜戸小学校グラウンド	釜戸町3007-3	×	
大湫	旧大湫小学校グラウンド	大湫町416-1	×	
日吉	日吉小学校グラウンド	日吉町2370-1	×	
	市民日吉グラウンド	日吉町2722-1	×	

災害種別の説明

土砂災害	×	土砂災害警戒区域内にあり、土砂災害が予想される場合は、使用できません。
浸水害	×	浸水想定区域内にあり、浸水害が予想される場合は、使用できません。
	注	概ね1,000年に一度未満の確率の洪水が発生した場合、浸水のおそれがあります。



指定避難所 (被災された方が、一定期間避難生活を送るための施設)

地区	施設名	所在地	災害種別	
			土砂災害	浸水害
瑞浪	瑞浪小学校	北小田町1丁目66		×
	瑞浪中学校	土岐町7790-1		
	瑞浪幼稚園	北小田町1丁目54		注
	一色幼稚園	寺河戸町190-1		×
	みどり幼稚園	下沖町2丁目10		×
	南小田児童館	南小田町1丁目32		×
	市民福祉センター(ハートピア)	樽上町1丁目77		
	子ども発達支援センター「ぼけっと」	寺河戸町1149-1		注
	産業振興センター	上平町5丁目5-1		
	地域交流センター「ときわ」	寺河戸町1131-2		注
土岐	土岐小学校	土岐町6451-4		×
	瑞浪北中学校	土岐町973	×	
	総合文化センター	土岐町7267-4		×
	桔梗幼稚園	土岐町1770-2		注
	桜寿荘(さくら)	土岐町5200		注
	教育支援センター	土岐町400-1		
	岐阜県立瑞浪高等学校	土岐町7942		
明世	明世小学校	明世町山野内1-40		
	市民体育館	明世町戸狩191	×	
稲津	稲津小学校	稲津町小里371-1		
	瑞浪南中学校	稲津町小里456		
	稲津コミュニティーセンター	稲津町小里697-1		注
	稲津幼稚園	稲津町小里697-1		注
	寿楽荘	稲津町小里606-8		
陶	陶小学校	陶町水上665-1	×	
	陶コミュニティーセンター	陶町猿爪405-1		
	陶幼稚園	陶町猿爪1082-46	×	
	陶児童館	陶町猿爪1082-65	×	
	陶公民館体育室	陶町水上669-1		
釜戸	釜戸小学校	釜戸町3007-3	×	
	釜戸コミュニティーセンター	釜戸町2673-1		注
	竜吟幼稚園	釜戸町2821-2		×
大湫	大湫コミュニティーセンター	大湫町422-1		
日吉	日吉小学校	日吉町2370-1	×	
	日吉コミュニティーセンター	日吉町4093-2	×	
	市民日吉体育館	日吉町2722-1	×	
	日吉幼稚園	日吉町4115-2	×	×
	福寿荘	日吉町4116-1	×	注

災害に備えて



福祉避難所 (高齢者や障がい者など、特別な配慮が必要な方のための避難所)

地区	施設名	所在地
瑞浪	市民福祉センター(ハートピア)	樽上町1丁目77

非常用持出品・備蓄品

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常用持出品(例)

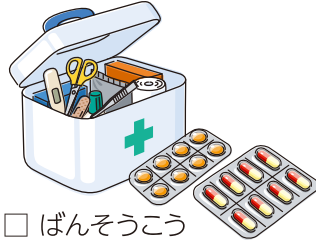
事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

携帯ラジオ



- ラジオ
- 電池(多めに用意)

救急医療品



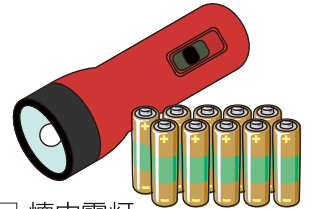
- ばんそうこう
- 包帯
- 常備薬
- きず薬
- 持病の薬

貴重品



- 現金
- 預貯金通帳
- 印鑑
- 権利証書
- 免許証
- 健康保険証

懐中電灯等



- 懐中電灯
(出来れば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)

非常食品等



- 飲料水
- 缶詰・レトルト食品
- 離乳食
- ミルク

その他



- ヘルメット
- カップ
- 衣類(下着・上着など)
- タオル
- 紙おむつ
- 生理用品
- ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)
- ライター
- 水筒
- メガネ
- 紙コップ
- 歯ブラシ
- 紙皿
- 入歯
- 栓抜き
- ウェットティッシュ
- 缶切り
- 充電器・予備バッテリー

非常用備蓄品(例)

飲料水



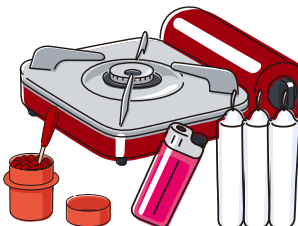
- ペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)又は貯水したタンクなど

非常食品



- お米(アルファ化米など)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

燃料



- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料

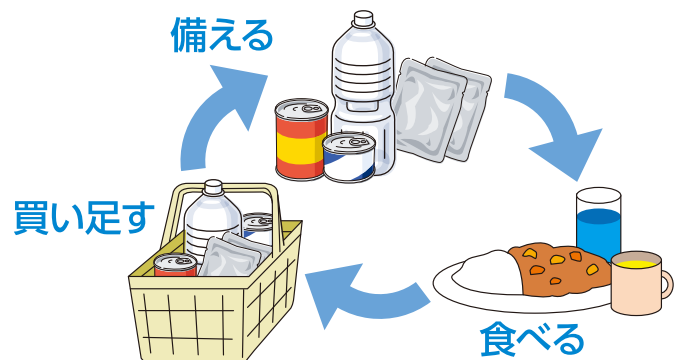
その他



- 生活用水
(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- 簡易トイレ
- バケツ・アウトドアグッズなど

●ローリングストック法

普段から少し多めに食材や加工品、飲料水を購入し、使った分だけ新しく買い足すことで、食料などを備蓄する方法です。



地域の防災活動に参加しましょう

災害による被害を少なくするためには、地域で災害時の役割分担などを決め、災害時には協力して防災活動を行うことが重要です。

自分や家族、そして地域を災害から守るため、定期的に地域で防災活動を行いましょう。また、防災活動は、地域の皆さんの絆を深めるきっかけにもなりますので、実施される場合は、積極的に参加しましょう。



災害に備えて

受講者募集！ 防災リーダー養成講座

防災の知識と技術を兼ね備え、適切に判断・行動できる人材を育成するため、「防災リーダー養成講座」を開催しています。



◆この講座を修了された方は、「瑞浪市防災リーダー」として認定されます。また、希望する方は、日本防災士機構の防災士資格取得試験を受験することができます。

建物等の安全対策をしましょう

阪神・淡路大震災では、犠牲になった方の約8割が家屋や家具の下敷きによる圧死であったと言われています。大規模地震の切迫性が指摘される現在、住宅の倒壊を防ぐための対策をしておくことが大切です。

耐震診断により、問題があった場合は、専門家に依頼し、補強や改修などの対策をしておきましょう。

●木造住宅無料耐震診断及び耐震補強工事への補助

昭和56年5月以前に建てられた木造住宅の無料耐震診断を行い、補強工事が必要であると診断された場合、その工事にかかる費用の一部を助成しています。また、木造住宅以外の建築物についても、昭和56年5月以前に建てられたものについては、耐震診断にかかる費用の一部を助成しています。



問合せ 都市計画課 ☎68-9817

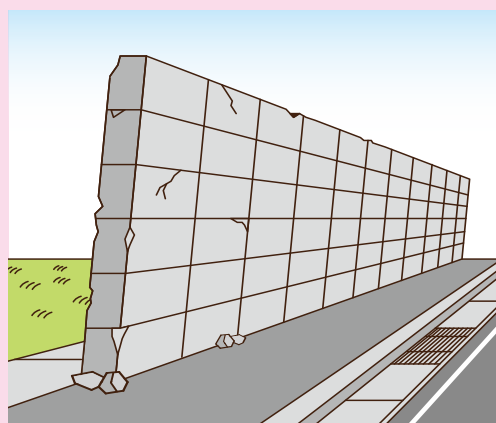
平成30年6月に発生した大阪府北部地震や過去の大規模地震では、ブロック塀の倒壊により多くの被害が発生しています。ブロック塀等の倒壊は、通行人に危険を及ぼすほか、緊急車両の通行を妨げることもあります。

ご自宅などのブロック塀等を確認し、危険な場合は、撤去などの対策をしておきましょう。

●危険ブロック塀等の撤去促進補助

市では、道路または公共施設敷地に面したブロック塀等を60cm未満の高さに改修する工事にかかる費用の一部を助成しています。

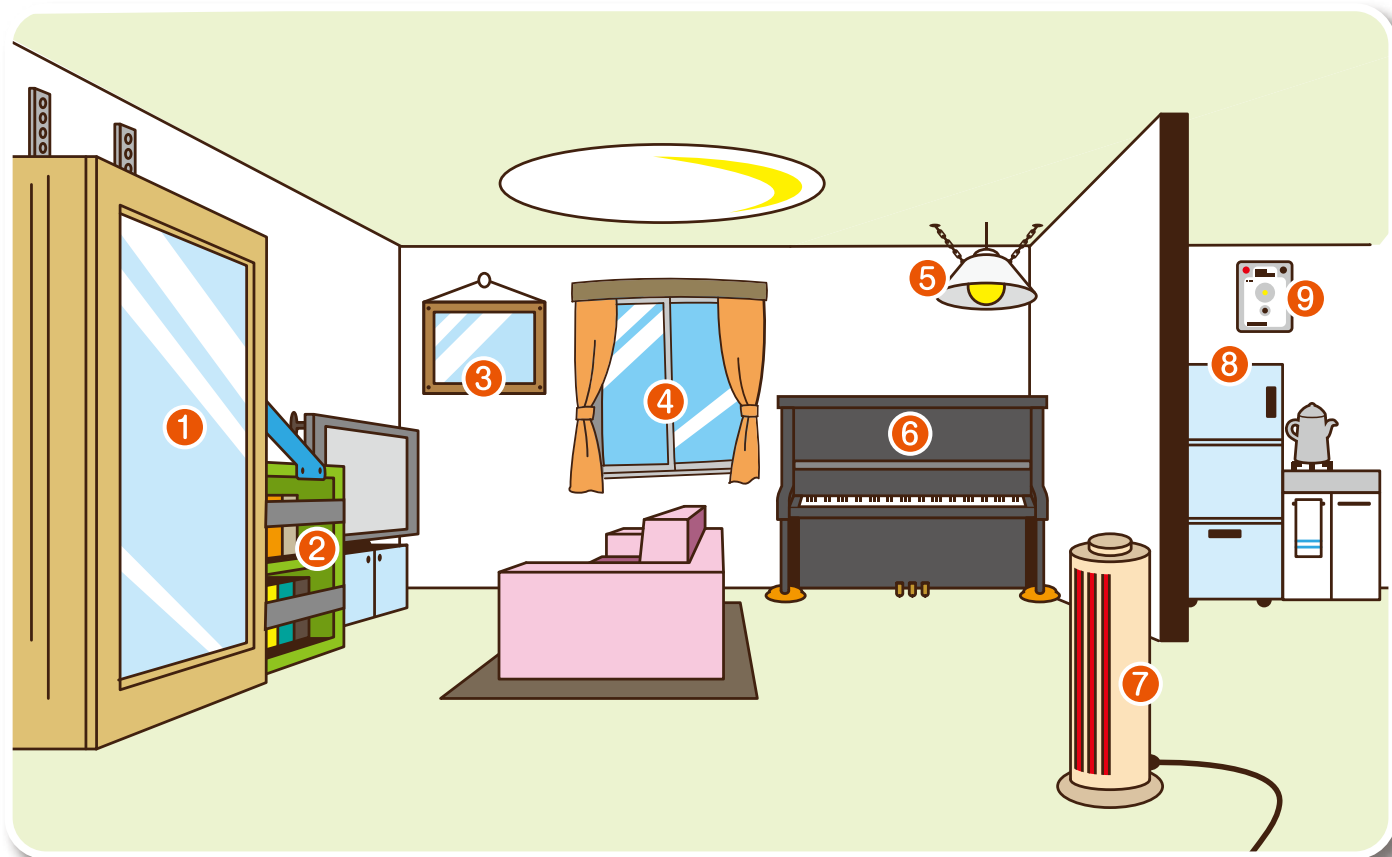
撤去工事前の申請が必要となりますので、事前にお問い合わせください。



問合せ 生活安全課 ☎68-9736

家の中の安全対策をしましょう

家の中の地震対策は、事前の備えが重要です。家具の転倒防止や落下防止、配置を工夫するなど、身の安全と逃げ道を確保しておきましょう。



災害に備えて

① タンス・棚

L字金具などで固定しましょう。ガラス面には飛散防止フィルムを貼りましょう。

② 本棚

本がすべり落ちないようにバンドをかけましょう。

③ 額縁

チェーンや金具でしっかり固定しましょう。ガラス面には飛散防止フィルムを貼りましょう。

④ 窓

ガラス面には飛散防止フィルムを貼りましょう。

⑤ 照明器具

つり下げ式の照明器具はチェーンと金具で固定しましょう。

⑥ ピアノ

脚には専用のすべり止め器具を取り付けましょう。

⑦ 暖房器具

周囲に燃えやすい物を置かないようにしましょう。

⑧ 冷蔵庫

付属の器具などで、壁などに固定しましょう。

⑨ 感震ブレーカー

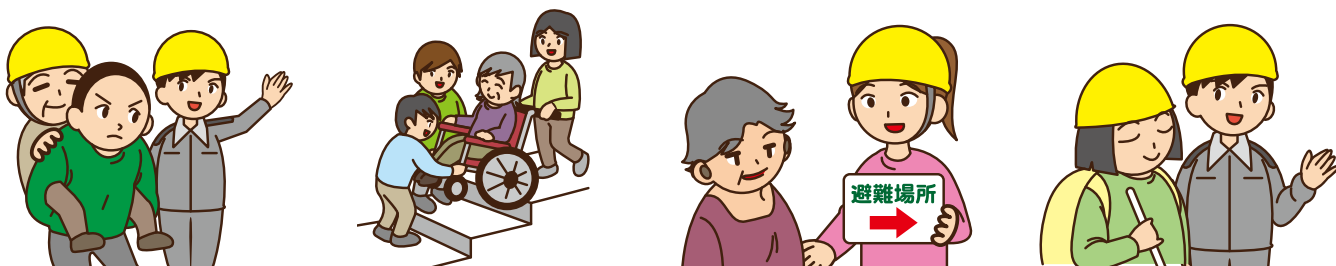
強い揺れを感知した場合に自動でブレーカーを落とす装置。

配慮を必要とする方を支援しましょう

避難時や避難所で生活する際、高齢者や障がいのある方、日本語がほとんど理解できない外国人、妊婦、子どもなどに対しては、特別な配慮が必要となります。

災害時には、自らの命を守った上で、地域の方々と協力して、避難誘導などの支援を行いましょう。

災害に備えて



避難行動要支援者名簿

民生委員・児童委員、区長と協力して、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方など、災害時の避難行動に支援が必要な方の同意を得て、避難行動要支援者名簿を作成しています。この名簿は、災害が発生したときの地域における支援に活用することを目的としています。

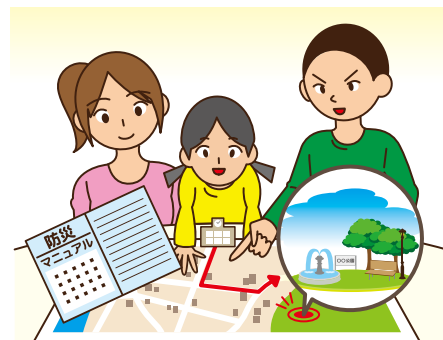
問合せ **社会福祉課** ☎68-2112

帰宅困難への対策をしておきましょう

災害は、自宅にいるときなどに発生するとは限りません。勤務先や外出先などで発生することも想定しておきましょう。

● 平常時に確認しておくこと

- ・勤務先や学校付近の避難場所
- ・職場等の非常用備蓄品
- ・職場等の防災マニュアル
- ・家族の集合場所



● 外出時などに災害が発生したら

- ・自分自身の安全確保
- ・家族の安否、自宅の状況確認
- ・交通機関や道路状況などの情報収集
- ・待機、帰宅、移動の判断



台風・集中豪雨・局地的大雨のポイント

毎年、全国各地で、台風や短時間で大雨が降る集中豪雨・局地的大雨による大きな被害が発生しています。秒速50m以上の猛烈な風、1時間雨量が100mm以上の降雨が発生することもあり、注意が必要です。

防災気象情報を入手して、風水害への備えと早めの避難行動を心がけましょう。

風の強さと吹き方

気象情報などで「風速〇m/秒」といった表現で伝えられます。

	やや強い風 10m以上15m/秒未満	強い風 15m以上20m/秒未満	非常に強い風 20m以上30m/秒未満	猛烈な風 30m/秒以上
予報用語と風速				
およその時速	~50km	~70km	~110km	110km~
人への影響と屋外の様子	<ul style="list-style-type: none"> 風に向かって歩きにくくなる。 樹木全体が揺れ始める。 	<ul style="list-style-type: none"> 風に向かって歩くことが困難。 電線が鳴り始める。 	<ul style="list-style-type: none"> 何かにつかまっていなくて立ってられない。 瓦などが飛散する可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 屋外での行動は極めて危険。 樹木が倒れ、トラックなどが横転する。

災害への対応

雨の強さと降り方

気象情報などで「1時間雨量〇mm」といった表現で伝えられます。

	やや強い雨 10~20mm未満	強い雨 20~30mm未満	激しい雨 30~50mm未満	非常に激しい雨 50~80mm未満	猛烈な雨 80mm以上
予報用語と1時間雨量					
人の受けるイメージ	・ザーザーと降る。	・どしゃ降り。	・バケツをひっくり返したように降る。	・滝のように降る。(ゴォーと鳴り響く)	・息苦しくなるような圧迫感がある。 ・恐怖を感じる。
人への影響と屋外の様子	・地面からはね返りで足元がぬれる。	・傘をさしてもぬれる。 ・車の場合、ワイパーを速くしても見づらい。	・道路が川のようになる。	・傘はまったく役に立たなくなる。 ・水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	
災害の危険性	・この程度の雨が、長く降り続くと注意が必要。	・側溝や水路、小さな川があふれ、道路冠水のおそれがある。 ・小規模のがけ崩れのおそれがある。	・がけ崩れが起きやすくなる。	・土石流が起こりやすくなる。 ・多くの災害が発生する。	・大規模な災害発生のおそれが高くなる。

土砂災害のポイント

●土砂災害について

急傾斜の山が多い日本では、毎年、大雨、地震などにより土砂災害が発生しています。

土砂災害の発生するおそれがある区域は「土砂災害警戒区域」に、その区域内にあり、建築物の損壊が生じ、住民に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域は「土砂災害特別警戒区域」に指定されています。

ハザードマップなどで、自宅が該当するか確認しておきましょう。区域内にある場合は、早めの避難が必要です。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

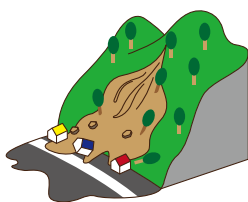
土砂災害警戒区域のうち、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域

●土砂災害警戒情報とは

大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、対象となる市町村(瑞浪市)を特定して都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報です。情報が発表された場合は、速やかに避難先への避難を完了させましょう。警戒情報が発表されていなくても危険を感じたら自主的に避難してください。

こんな前兆現象があったら、すぐに避難しましょう!

土石流



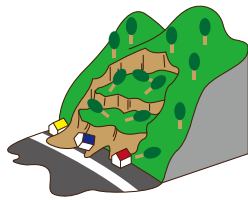
概要

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象です。時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまうこともあります。

前兆現象

- ・山全体がゴロゴロというような音(山鳴り)がする。
- ・雨が降り続けているのに、河川の水が減っている。
- ・河川が濁ったり、流木が流れている。
- ・腐った土の匂いがする。

地すべり



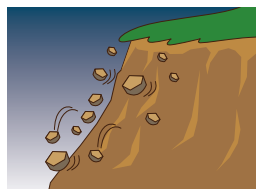
概要

斜面の一部、あるいは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象です。土塊の移動量が大きいいため甚大な被害が発生します。

前兆現象

- ・地面がひび割れたり、陥没または隆起している。
- ・井戸水が濁っている。
- ・池や沼の水量が急激に変化する。
- ・がけや斜面から水が噴き出す。

がけ崩れ



概要

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる現象です。崩れ落ちるまでの時間が短いいため、人家の近くでは逃げ遅れも発生し、人命を奪うことがあります。

前兆現象

- ・がけから小石などがパラパラ落ちてくる。
- ・がけに割れ目ができている。
- ・がけからの湧き水が濁っている。
- ・地鳴りがする。

早めに避難しましょう

自分や家族の命を守るためには、状況を的確に判断して、早めに避難行動に移ることが重要です。少しでも危険を感じたら、ためらわずに自主的に避難しましょう。

避難行動

- 立ち退き避難…自宅などから指定緊急避難場所やその他の安全な場所に避難する。
- 屋内安全確保…自宅などの建物内に留まり、安全を確保する。



命を守る最低限の行動

屋外への移動が危険で、屋内への浸水による危険がないと判断される場合は、自宅や近隣建物の2階以上へ避難し、救助を待つことも検討してください。

大雨のときの注意点

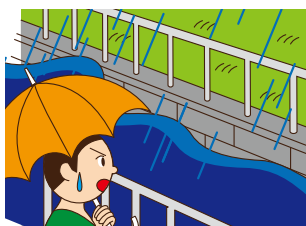
- ① 天気予報や気象情報に注意する。



- ③ 市や気象庁などから情報を入手する。



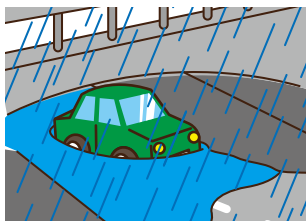
- ⑤ 危険箇所には近づかない。



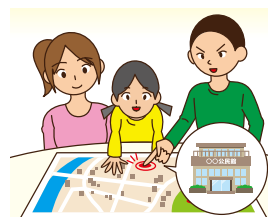
- ⑦ 夜間の避難は危険。



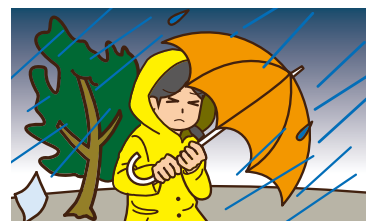
- ⑨ 車での避難は危険な時もある。



- ② 避難場所・避難経路・危険箇所などをあらかじめ確認しておく。



- ④ 不要不急の外出はしない。



- ⑥ 身の危険を感じたら、すぐに逃げる。



- ⑧ 浸水時の避難は危険。









- ⑩ 裏山など、土砂災害の前兆現象に注意する。



震度と揺れの大きさ

「震度」とは、地震が起きたときの揺れの大きさを表し、気象庁は、以下に示す10階級に分類しています。

<p>震度 0</p> <p>揺れを感じない</p>	<p>震度 1</p> <p>屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる</p>	<p>震度 2</p> <p>屋内で静かにしている人の大半が揺れを感じる。</p>	<p>震度 3</p> <p>屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。</p>
<p>震度 4</p> <p>ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが揺れを感じる。</p> 	<p>震度 5弱</p> <p>大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。</p> 	<p>震度 5強</p> <p>大半の人が物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。</p> 	
<p>震度 6弱</p> <p>立っていることが困難になる。耐震性の低い住宅では、倒れることもある。</p> 	<p>震度 6強</p> <p>立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ飛ばされることもある。耐震性の低い住宅では、倒れるものが増える。</p> 	<p>震度 7</p> <p>耐震性の高い建物でも傾くことがある。大きな地割れや地すべりなど土砂災害が発生することもある。</p> 	

災害への対応

緊急地震速報

「緊急地震速報」とは、震源付近の地震計で地震波を観測した場合に、大きな揺れが予想される地域に可能な限り事前に知らせる速報です。発表されてから強い揺れが到着するまでの時間は、数秒から長くて数十秒程度と極めて短く、震源に近いところでは、速報の前に揺れが始まる場合もあります。

防災行政無線、防災ラジオ、テレビなどで報知音が鳴った場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保しましょう。

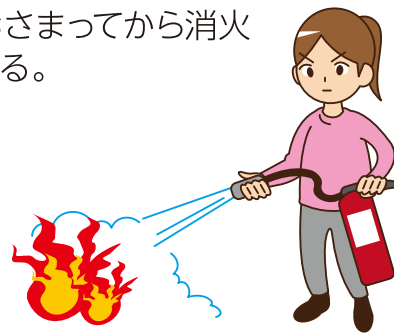


地震のときの注意点

- ① グラツときたら身の安全を確保する。「体勢を低く、頭を守り、動かない」ことが命を守る最も大切な行動です。



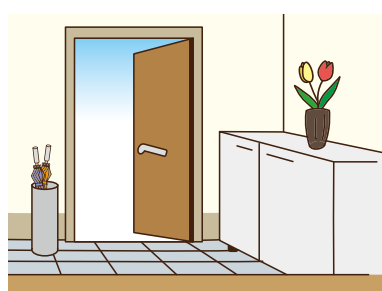
- ② 揺れがおさまってから消火活動をする。



- ③ 室内のガラスの破片などに注意する。



- ④ 窓や扉を開けて、逃げ道を確保する。



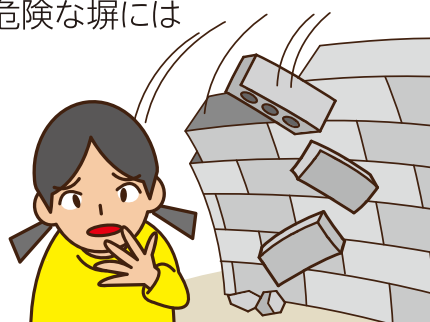
- ⑤ 落下物に注意する。あわてて外に飛び出さない。



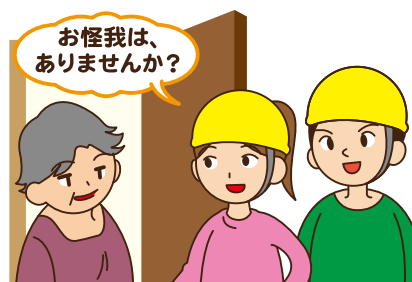
- ⑥ 避難する前にブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉める。



- ⑦ 狭い路地や危険な塀には近寄らない。



- ⑧ 隣近所の安否を確認する。



- ⑨ 協力して救出・救護する。



- ⑩ 正しい情報に従って行動する。



火災発生時の行動

火災が発生したら、「通報」「初期消火」「避難」といった行動が基本です。逃げ遅れないよう冷静に判断しましょう。

通 報



- ・「火事だ!」と大声で近所に知らせましょう。
- ・119番に通報しましょう。

初期消火



- ・消火器を使用しましょう。無い場合は濡らしたタオルなど身近なものを活用しましょう。
- ・火が天井まで達したら直ちに避難しましょう。

避 難



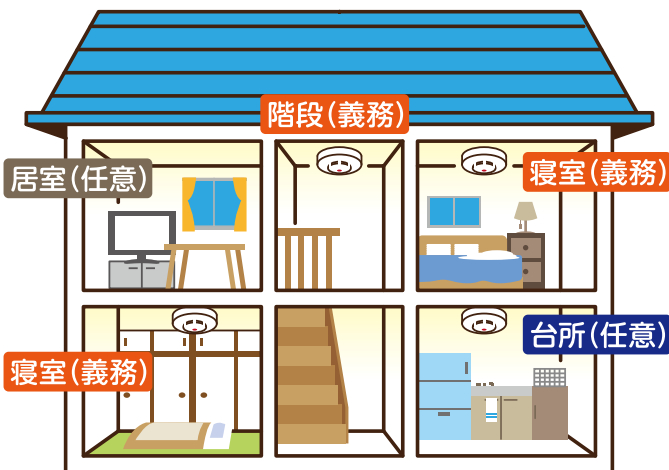
- ・火元がある部屋の扉を閉めましょう。
- ・慌てずに落ち着いて、外に避難しましょう。

災害への対応

住宅用火災警報器を設置しましょう

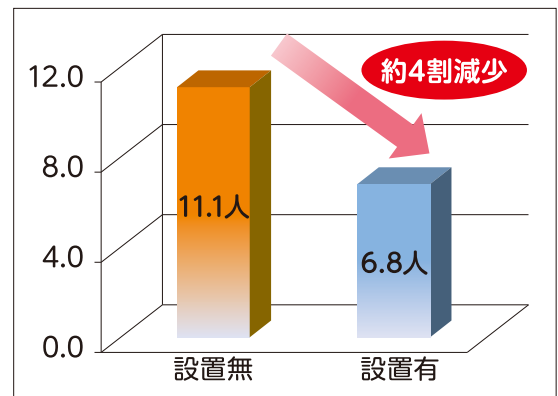
住宅用火災警報器は、火災の発生をいち早くキャッチし、音声等で知らせてくれます。平成23年、火災の逃げ遅れによる死者が増加していることから、全ての住宅の寝室と階段(2階以上に寝室がある場合)への設置が義務化されました。台所に設置義務はありませんが、設置しておくことさらに安心です。また、定期的に自主点検を行い、維持管理に努めましょう。

◆設置箇所



◆設置の効果

(人/火災100件)



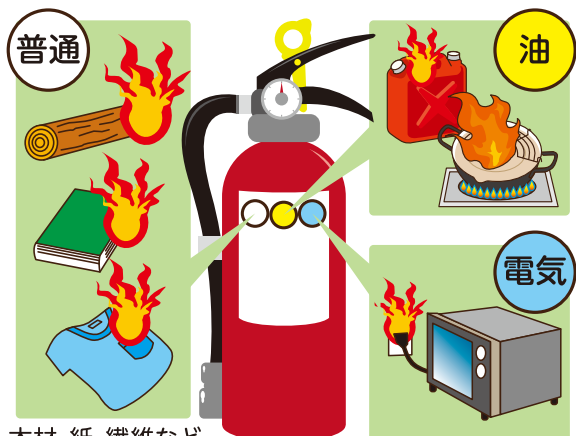
<平成28~30年住宅火災100件当りの死者数>

資料:消防庁HPより

初期消火のポイント

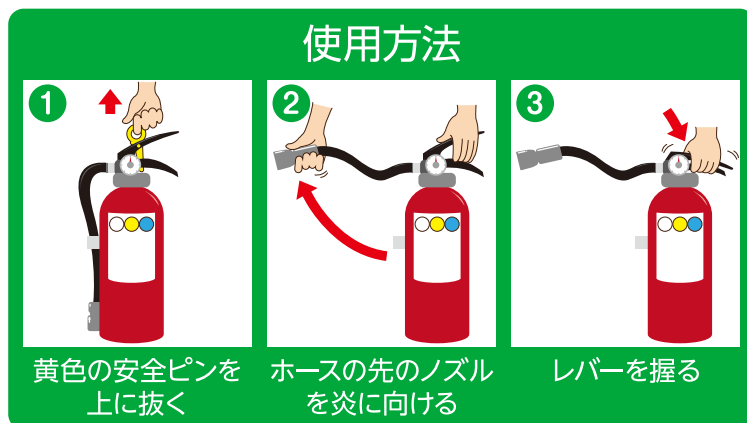
火元によって初期消火の方法は異なり、誤った対応をすると、大変危険です。消火器の種類や使用方法、消火器がない場合の対応などを確認しておきましょう。

●消火器



木材、紙、繊維など

・消火器は火元に応じて3種類に分類されます。



黄色の安全ピンを上に抜く

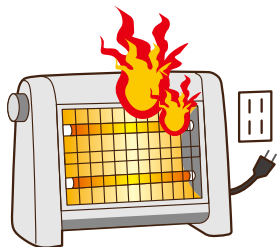
ホースの先のノズルを炎に向ける

レバーを握る

災害への対応

●対応する消火器が無い場合

電化製品から出火



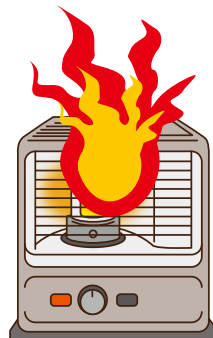
- ・プラグを抜き、濡らした大きなタオルで覆い、空気を遮断しましょう。
- ・ブレーカーを落としましょう。

油から出火



- ・鍋蓋や濡らした大きなタオルで覆い、空気を遮断しましょう。
- ・絶対に水をかけないでください。

石油ストーブから出火



- ・十分に濡らしたシーツや毛布で覆い、バケツの水などをかけましょう。

カーテンやふすまから出火



- ・カーテンはレールから引きちぎり、ふすまや障子は蹴り倒してから大量の水をかけましょう。

●外で火を扱う際には十分注意しましょう

野焼き等を行う際は、周りの状況に十分注意しましょう。強風するとき、乾燥したとき、可燃物が近くにあるときは大変危険です。

また、火元が確実に鎮火したことを確認してください。



応急手当のポイント

大規模災害時などの混乱状態では、救急車がすぐに到着できないことがあります。ケガ人などを確認した場合は、救急車が到着するまで、適切に応急手当をしましょう。

●応急手当をする前に、まず周囲の安全確認を行いましょう。

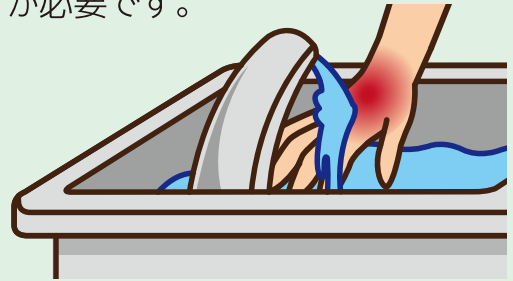
◆出血時の応急手当

- ・感染防止のため、ビニールやゴム手袋を使用し、血液に直接触れないよう注意します。
- ・きれいなガーゼやハンカチなどを傷口に当て、手で圧迫します。



◆火傷(やけど)時の応急手当

- ・衣類は無理に脱がさず、すぐに水で痛みが取れるまで冷やします。
- ・水ぶくれはつぶさないよう注意します。
- ・広範囲を冷やし続けることで、体温が低下する場合がありますので、注意が必要です。



◆AEDを使用した心肺蘇生

- ①胸骨圧迫を開始する
 - ②AEDの電源を入れる
 - ③電極パッドを胸部に貼る
 - ④ショック必要の指示が出たらショックボタンを押す
 - ⑤胸骨圧迫を再開する
- ※救急隊に引き継ぐ、意識の無い方の体動を確認するまで、AEDの指示により心肺蘇生を継続する。



◆救命講習を受講しましょう

救急車が119番通報を受けてから現場に到着するまで、全国平均で約9分かかります。この間の応急手当が、傷病者の命に大きく左右します。

胸骨圧迫やAEDの操作などは、訓練をしなければ身につけません。

消防本部で救命講習を実施していますので、積極的に受講し、応急手当の方法を身につけましょう。

問合せ 警防課 ☎68-2001



LP (プロパン) ガスのポイント

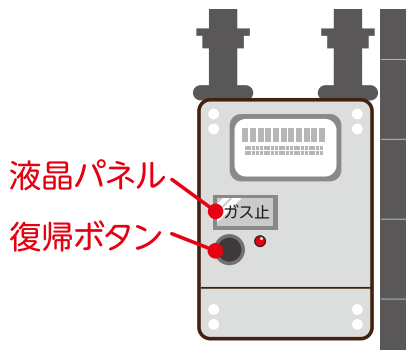
●ガスの特性

LP (プロパン) ガスは空気より重く、拡散しにくいいため、ガスが漏れた場合は、床などに溜まります。元栓を閉め、窓を開けてガスを外に逃がしましょう。また、火気の使用や電気機器の入切、コンセントの抜き差しはしないでください。

●LP ガスマイコンメーター

マイコンメーターは、ガスの流れや圧力などの異常や、震度5相当以上の揺れを感知した場合に自動でガスを遮断します。

◆LPガスのメーター復歸方法(一例)



- ①すべてのガス器具の元栓を閉める
- ②復歸ボタンを押す
- ③液晶パネルの「ガス止」の表示が消える
- ④ランプの点滅が消灯後復歸完了

ペットを飼われている方へ

いざというとき、ペットを守れるのは飼い主だけです。ペットと安全に避難し、周りの人へ迷惑をかけず、安心して過ごすためには、日ごろからの心構えと備えが大切です。

●日ごろからの備え

- ノミ・ダニの予防
- ケージやクレートに馴らすなどのしつけ
- 首輪に鑑札をつける
- 迷子札やマイクロチップをつける

●災害時、ペットのために持ち出すもの

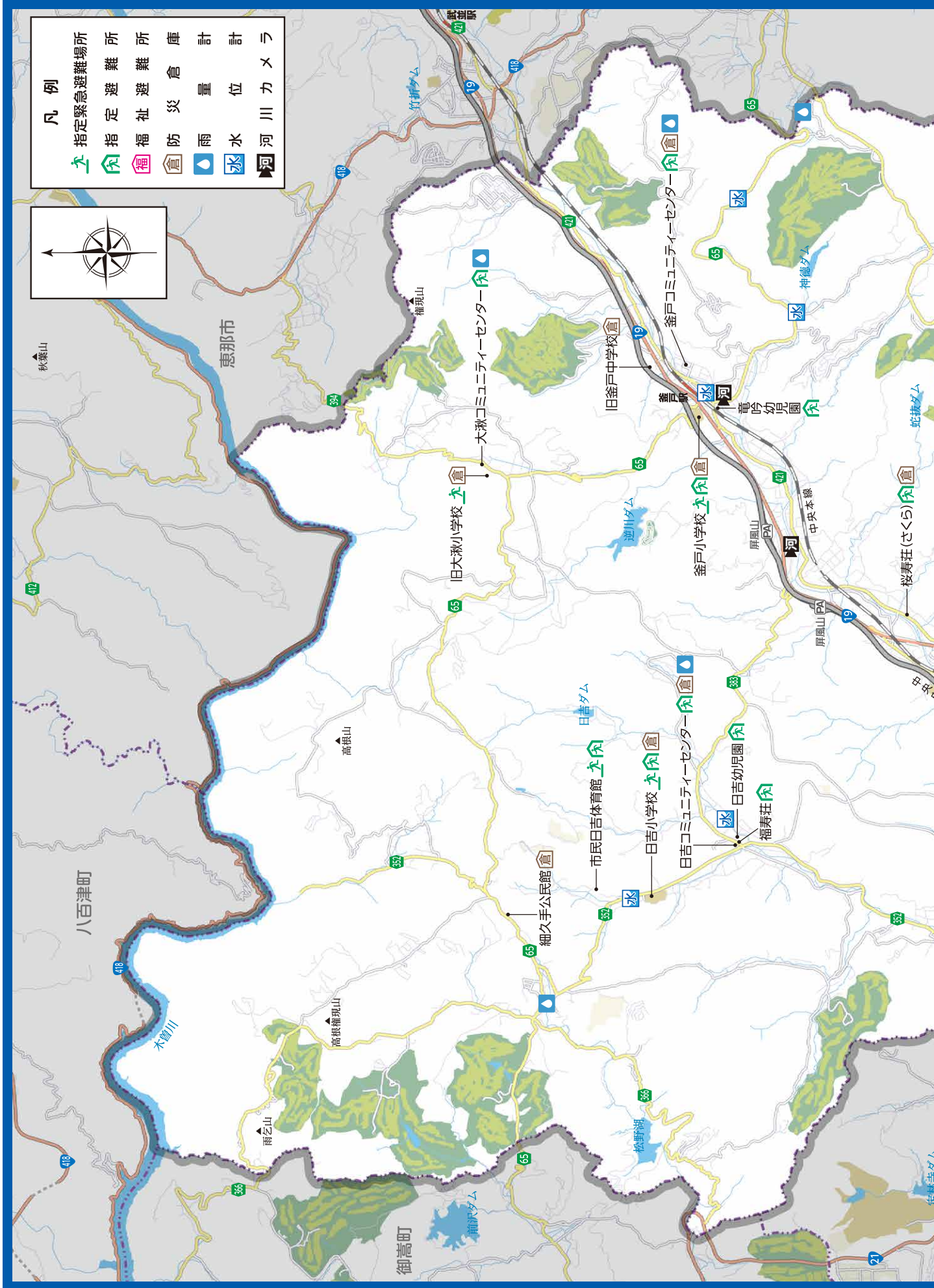
- 療法食、薬
- ガムテープ (補修など多用途に使用できます)
- 5日分程度のフード、水、食器
- 鑑札 (犬のみ)
- ケージやクレート
- 排泄物の処理用品
- 予備の首輪、リード (伸びないもの)
- (ビニール袋、ペットシート、消臭スプレー)

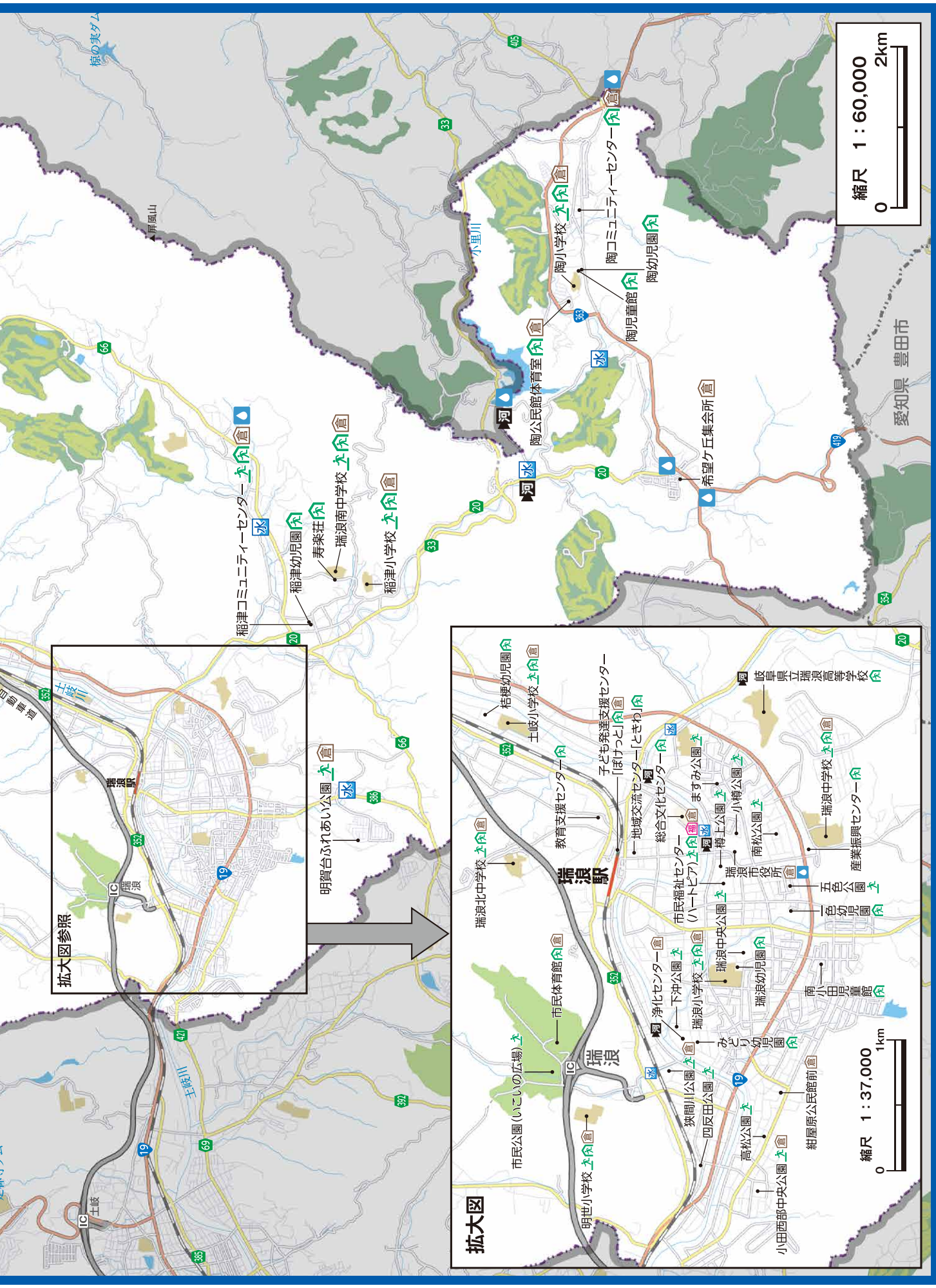
●ペットとの避難所生活

- ・ ペットは指定の場所でケージやクレートの中で飼う。
- ・ ケージやクレートは飼い主が常に清潔にし、消毒などを行う。
- ・ ペットの食料は飼い主が用意する。
- ・ 排泄物の処理は飼い主の責任で行う。
- ・ 運動やブラッシングは、必ず屋外で行う。

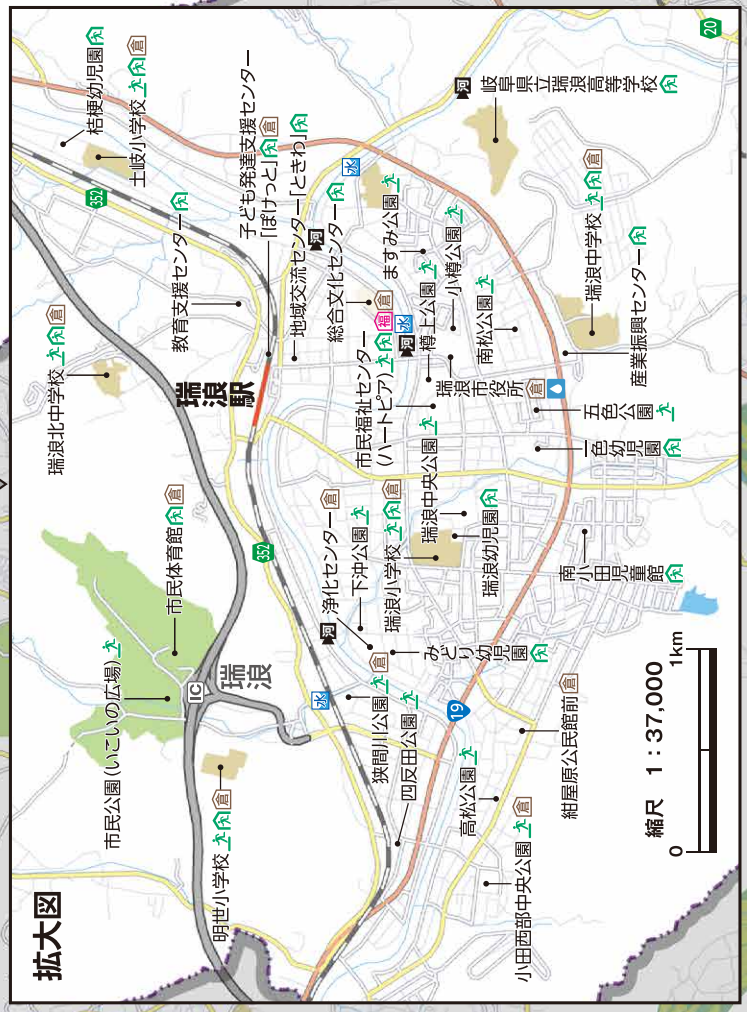


瑞浪市防災マップ





縮尺 1 : 60,000
0 2km



縮尺 1 : 37,000
0 1km

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分1地方図、2万5千分1地方図及び電子地形図25000を使用した。(承認番号 平29情使、第444-1350号)(禁無断複製)©2020 ZENRIN CO.,LTD.

瑞浪市防災マップ

わが家の防災メモ

わが家の住所	〒 -	電話番号	
--------	-----	------	--

氏名	生年月日		血液型		電話番号	既往症・アレルギー
	大	昭	平	令		
	年	月	日		(携帯)	
	年	月	日		(携帯)	
	年	月	日		(携帯)	
	年	月	日		(携帯)	
	年	月	日		(携帯)	
	年	月	日		(携帯)	

氏名	住所	電話番号	メモ
		(携帯)	
		(携帯)	
		(携帯)	
		(携帯)	
		(携帯)	

	指定緊急避難場所	指定避難所	一時避難場所
風水害			
地震			

●災害用伝言ダイヤル

家族の安否確認用に有効活用しましょう!

利用方法

「171」にダイヤルし、つながったらガイダンスにしたがって録音・再生を行います。



災害用伝言ダイヤル 171

「あの人がいない」でおぼえよう171

●伝言の録音 **171+1+** 自分の家の電話番号など

●伝言の再生 **171+2+** 自分の家の電話番号など

このほか、災害用ブロードバンド伝言板や携帯電話各社の災害用伝言板もあります。

